※令和４年度以降入学生用

学校番号	319

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	高等学校　古典探究（数研出版） 共通テスト＋センター試験　国語過去問題　古典　平成３１～令和８年（尚文出版） 古典の演習３（発展編）三訂版（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１・２年生で学んだ基礎的な文法や句法の知識を用いて、有名な古文・漢文の読解を行います。
・伝統的な言語・文化に対する関心を持ち、古典を学習する意義を考えましょう。
・有名な古文・漢文の作品に親しむことで、豊かな感性と心情を理解しましょう。
・予習、復習は必ず行いましょう。（予習の仕方は授業の中で説明します。）
・定期テストや小テスト、日々の課題の提出に向け、学習計画をしっかり立てて取り組むようにしましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、活用するとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

前期	敬語表現の理解を深め、古文を味わう ［教材］ 歴史物語『大鏡』「肝だめし」	a：古文を読むために必要な敬語の知識を身に付けている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c：歴史物語について関心を持ち、成立した時代の背景をとらえようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	古典常識の理解を深め、本文内容や展開を的確に捉える ［教材］ 歴史物語『大鏡』「肝だめし」、その他図書資料	a：古文を読むために必要な古典常識の知識を身に付けている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察することができる。 c：平安時代の文化に関心を持ち、積極的に理解しようとしている。	ノート 定期考査	ワークシート	振り返りシート ワークシート
	作品の背景に関心を持ち、的確に読み解く ［教材］ 物語『源氏物語』「車争ひ」	a：文語のきまりを身に付け、文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c：作品が成立した時代の背景に関心を持ち、粘り強く読み解こうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	句法を活用して、唐宋八大家の文章を読み解く ［教材］ 文章『唐宋八家文読本』「師説」	a：漢文を読むために必要な句法の知識を身に付けている。 b[読]：作品の成立した背景を理解し作者の人生観や人間性について理解することができる。 c：論説文の特徴をふまえて、漢文特有の表現を味わい、粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	

4　学習の活動

後期	句法を活用して漢詩を読み解く ［教材］ 漢詩―近体詩「山中対酌」「雨中登岳陽楼望君山」「黄鶴楼」「梅花」―古体詩「石壕吏」	a：漢詩のきまりや表現を身に付けている。 b[読]：近体詩・古体詩の作品について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げている。 り深めたりすること。 c：漢文に親しみ、漢文特有の表現を粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	各種の評論文を読み作者の主張を読み解く ［教材］ 評論『無名抄』「俊成自讃歌のこと」『正徹物語』「独り雨聞く秋の夜すがら」『石上私淑言』「もののあはれを知る」	a：文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価することができる。 c：評論の内容・構成展開を的確にとらえ、文章を味わおうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	作品の背景に関心を持ち、的確に読み解く ［教材］ 物語『源氏物語』「紫の上の死」	a：文語のきまりを身に付け、文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		c:作品が成立した時代の背景に関心を持ち、粘り強く読み解こうとしている。			
	登場人物の特徴や歴史的な事実をふまえて漢文を味わう ［教材］ 史伝『史記』「刎頸の交はり」	a:漢文を読むために必要な句法の知識を身に付けている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察することができる。 c:登場人物の特徴や歴史的な事実をふまえて、漢文特有の表現を味わい、粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	登場人物の特徴を踏まえて江戸時代の文章を味わいその面白さを理解する ［教材］ 近世小説『日本永代蔵』「世界の借家大将」	a:文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]:内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価することができる。 c:西鶴特有の特徴的な文章の表現を味わい、粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・読むこと　　…　（　７０　）時間